

市長通信 輝く!  
あげお

スポーツの持つちから

去る3月28日から30日まで、県立武道館でJOC（※）ジュニアオリンピックカップ「彩の国杯第12回全国中学生空手道選抜大会」が開催されました。埼玉県での開催は2年連続となり、大会では各都道府県の代表者979人が形と組手で競い合いました。競技が始まると、子どもたちは力強い掛け声と真剣な表情に一変し、日頃の修練の成果が発揮された素晴らしい大会となりました。ここ上尾でハイレベルな熱戦を目の当たりにできることは、市民の皆さんにとって貴重な機会だと思います。緊張感と熱気に包まれた会場では、私もたくさんの元気と勇気をいただきました。

空手は2020年の東京オリンピックで正式種目に採用されることが決まり関心も高まっており、子どもたちには励みにもなることでしょう。

私も空手をやりますが、空手に限らず、スポーツや体を動かすことは心身の健康にとっても大切なことだと実感しています。これからは、スポーツの推進を図り、体を動かすことのできる環境づくりを通じて、市民の皆さんがより元気になり、活気ある上尾を築いていきたいと感じました。

※JOC（Japanese Olympic Committee）／日本オリンピック委員会



市長 畠山 稔